

平成30年7月30日

企業会計基準委員会 御中

宝印刷グループ
株式会社ディスクロージャー&IR総合研究所

実務対応報告公開草案第55号

「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い（案）」に対する意見

拝啓 貴会益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、貴会より平成30年5月28日に公表されました公開草案につきまして、当研究所において検討し、以下のとおり意見を提出いたしますので、今後の審議においてご検討いただきたく、お願い申し上げます。

敬具

記

質問 1

在外子会社等において、IFRS 第9号「金融商品」を適用し、資本性金融商品の公正価値の事後的な変動をその他の包括利益に表示する選択をしている場合の組替調整を修正項目とする提案に同意しますか。同意しない場合は、その理由をご記載ください。

同意します。

質問 2

その他、本公開草案に関して、ご意見があればご記載ください。

中間（連結）財務諸表作成会社については、実務対応報告公開草案第55号の適用時期等（3）②⑤の取扱いが、四半期（連結）財務諸表作成会社に準じて適用されるということでよいか確認したい（実務対応報告公開草案第56号の同適用時期等の取扱いも併せて確認したい。）。

また、実務対応報告公開草案第55号の適用時期等（3）③なお書の取扱いは、基準適用前の期において、未適用の会計基準等に関する注記の適用時期に関する注記（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準第12項（2））として適用予定日を記述することを改めて求めているのか、あるいは基準を適用した期において、会計方針の変更の注記として原則適用時期より遅い適用である旨の記述をすることを求めているのか、について確認したい。

以上